

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 平成30年11月5日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大村市	代表者名	園田 裕史
担当者部署	企画政策部広報戦略課	連絡先電話番号	
担当者役職		担当者氏名	
住所	8568686 長崎県大村市1丁目25番地		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	円城寺 雄介
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	今回の研修対象者は課長級職員と関係課事業担当職員であったため、特に課長級職員の中にIT・ICT関連分野への苦手意識が強い職員が多かったが、そのような参加者も興味を持ちやすいような技術的・専門的すぎない内容であり、かつ県庁職員という立場から地方自治体の実情を踏まえた内容であったため。
アドバイザーへの要望事項	各分野での具体的な活用事例の紹介を次回以降お願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	平成30年10月29日	10時00分	15時30分	60	270
3-2. 派遣場所	会場名	大村市役所		最寄駅	大村駅
	所在地	長崎県大村市玖島一丁目25番地			
	最寄駅からの交通手段	バス			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	91人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	ICT/IoTを活用した地域課題の解決・改善について、情報政策担当課職員のみでなく、事業担当課の職員ひとりひとりが各担当事業への適用可能性を認識し、手段のひとつとして検討するため、職員の啓発を行う必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	講演内容を所属内で共有し、ICT/IoTを活用した地域課題の解決・改善について、事業担当課の職員ひとりひとりが各担当事業への適用可能性を認識し、今後の手段のひとつとして検討し、することができること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	ICT/IoTの定義・利活用の具体例(医療現場におけるタブレットを活用したシステム構築、ドローン活用)についての研修。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	課長級課長や事業担当職員のITやICT、IoTについての基本的な知識習得の場となり、佐賀県の取組み前の課題から事業立案の過程の実例や、その効果について詳細に知ることで、本市の課題解決の手段として具体的に検討するきっかけになった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	ITやICT、IoTを用いた地域課題解決の必要性についての理解は深まったものの、具体的に実現可能な全国の実用事例等について、イメージがつかみにくかったとの意見が多かった。 また、出席した職員から全職員への知識の展開は十分には見込めないため、今回のような研修をくり返し行う必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。